

衆議院安全保障委員会ニュース

平成 23.10.25 第 179 回国会第 2 号

10月25日(火)、第2回の委員会が開かれました。

1 国の安全保障に関する件

- ・玄葉外務大臣、一川防衛大臣、石田内閣府副大臣、山口外務副大臣、渡辺防衛副大臣、下条防衛大臣政務官、神風防衛大臣政務官及び政府参考人に対し質疑を行いました。

(質疑者及び主な質疑内容)

神山洋介君(民主)

- ・一川防衛大臣及び玄葉外務大臣は、今 25 日、パネッタ米国防長官と会談するが、先般のそれぞれの沖縄訪問を踏まえ、両大臣の普天間飛行場移設問題についての現状認識と今後の取組方針について伺いたい。
- ・防衛計画の大綱の策定プロセスに関し、これまでは有識者による懇談会における議論を経て策定されているが、懇談会における秘密保全の在り方や政務三役の参加など、懇談会の運営方法について、今後見直す必要があるのではないのか、一川防衛大臣の見解を伺いたい。
- ・防衛省・自衛隊においては、サイバー攻撃に対し、組織内部等の防護のみならず、国全体の安全保障の観点からも取り組むべきと考えるが、一川防衛大臣の見解を伺いたい。

渡辺義彦君(民主)

- ・一川防衛大臣が大臣就任前に「安全保障に関しては素人だが、これが本当のシビリアンコントロールだ」と発言したことに関し、この発言の真意及びシビリアンコントロールについての認識について、一川防衛大臣に伺いたい。
- ・武器輸出三原則の見直しについて、政府内における議論の進捗状況等について、一川防衛大臣に伺いたい。また、武器輸出三原則を緩和した場合の経済的波及効果及び日米関係におけるメリットについて、防衛省に伺いたい。
- ・本年 9 月 24 日及び同年 10 月 6 日に行われた日韓外相会談において、竹島問題についてやりとりがあったとされているが、その内容について玄葉外務大臣に伺いたい。

下地幹郎君(国民)

- ・環太平洋戦略的経済連携協定(TPP)交渉に参加した上で途中離脱する可能性について、前原民主党政務調査会長が言及しているが、このようなことは国際的信用の問題として許されると考えているのか、玄葉外務大臣の

見解を伺いたい。

- ・仲井眞沖縄県知事に公約である普天間飛行場の県外・国外移設を変更させ、辺野古移設容認を求めるのであれば、まず民主党所属沖縄関係国会議員及び民主党沖縄県連並びに連合沖縄に賛成させることが前提であると考えながら、一川防衛大臣の見解を伺いたい。
- ・在沖海兵隊のグアム移転に係る「真水」事業に関する我が国の米側への拠出金が未拠出又はその大部分が未執行という状況にあることを踏まえ、平成 24 年度予算においては、関連経費を予備費に含めるなどして、米側が我が国の拠出金を執行できる状況になってから、米側に拠出するよう見直す必要があるのではないのか、一川防衛大臣の見解を伺いたい。

岩屋毅君(自民)

- ・現防衛大綱において、防衛力整備について「『基盤的防衛力構想』によることなく」とした理由は何か、また、今般の東日本大震災への対応で、輸送艦が不足した教訓も踏まえ、動的防衛力を整備するには、早期に海上輸送力を充実させる必要があると考えるが、一川防衛大臣の見解を伺いたい。
- ・玄葉外務大臣が本委員会における就任の挨拶で言及した「日米同盟の深化・発展」のためには、集団的自衛権行使の一部容認、武器輸出三原則の見直し、精密誘導兵器による打撃力の確保、明示的な核抑止政策の策定及び国際貢献のための法整備による自衛隊の新たな権能の獲得が必要であると考えながら、玄葉外務大臣及び一川防衛大臣の見解を伺いたい。
- ・カダフィ氏が死亡し、国民暫定評議会在が全土解放を宣言したリビアに対する我が国の関与の在り方及び支援方針について、外務省の見解を伺いたい。

木村太郎君(自民)

- ・「安全保障に関しては素人だが、これが本当のシビリアンコントロールだ」との発言が、自衛隊員の士気低下につ

ながる可能性についての一川防衛大臣の認識を伺いたい。また、周辺諸国は同発言をどのように見ていると認識しているのか、同大臣に伺いたい。

- ・防衛省は第三次補正予算に約1,620億円を計上し、主に震災関連のものとしているが、被災額の概算も算出できない状況の中で、復旧関連経費を予算計上することの妥当性についての防衛省の見解を伺いたい。
- ・北日本の防衛態勢が縮小傾向にある一方で、昨今ロシア軍の活動が活発化する中、北日本の防衛についてどのように認識しているのか、一川防衛大臣に伺いたい。

今 津 寛君（自民）

- ・一川防衛大臣は、自衛隊は軍隊と認識しているのか伺いたい。また、憲法を改正し、自衛隊を国軍として明確に位置付ける必要性についての一川防衛大臣の見解を伺いたい。
- ・民主党のマニフェストに関し、2009年衆議院議員選挙のマニフェストの「外交」の項で挙げられていた日米関係に関する三つの政策の進捗状況はどのようになっているのか、また、2010年参議院議員選挙のマニフェストの「外交・安全保障」の項で挙げられていた「東アジア共同体」の実現に向けた取り組みは現在どういった状況になっているのか、玄葉外務大臣に伺いたい。
- ・普天間飛行場移設が沖縄県の安全保障や県民の安全にどのように影響するかについての説明ができれば、県内移設に対する県民の理解が得やすいと考えるが、一川防衛大臣の見解を伺いたい。

馳 浩君（自民）

- ・F-15戦闘機の燃料タンク落下事故に関し、自衛隊が行った落下現場の保持や検証は不十分であったと思うが、このような対応は一川防衛大臣の言うところの国民目線とは言えないと思うが、一川防衛大臣の見解を伺いたい。
- ・一川防衛大臣が、本年10月15日に民主党石川県連のパーティーに参加するため石川県に戻った際、同県知事等関係首長に謝罪する必要があったと思うが、同大臣の認識を伺いたい。
- ・小松基地の騒音被害解消や安全対策のため、小松基地を能登空港へ移設することを真剣に検討する必要があると思うが、一川防衛大臣の見解を伺いたい。

東 順 治君（公明）

- ・普天間飛行場移設問題に関し、一川防衛他大臣の訪沖の際の仲井眞知事との会談において、年内に環境影響評価

書を沖縄県に提出すると発言したが、同知事がその後の公有水面埋立免許をするとの見通しがあったのことが、一川防衛大臣の見解を伺いたい。

- ・パッケージとなっている普天間飛行場の移設、在沖海兵隊員のグアム移転及び嘉手納飛行場以南の土地の返還を実施するための工程表を策定すべきと考えるが、玄葉外務大臣の見解を伺いたい。
- ・我が国の隣国である中国とは友好親善関係を更に発展させる必要がある一方で、中国がいわゆる責任あるステークホルダーとして行動することを促すためには、今後我が国はどのように対応していく必要があると考えているのか、一川防衛大臣及び玄葉外務大臣の見解を伺いたい。

赤 嶺 政 賢君（共産）

- ・普天間飛行場の県内移設が15年間にわたり実現しなかった理由は、沖縄県民の新基地建設反対の意思にあることを政府は理解していないと思うが、一川防衛大臣の認識を伺いたい。
- ・一川防衛大臣は、10月17日の記者会見で、オスプレイの沖縄配備について、辺野古における普天間飛行場代替施設建設に係る環境影響評価書の中でしっかりと評価すると述べているが、この発言はオスプレイ配備を受け入れると表明したものと理解でよいのか、一川防衛大臣の見解を伺いたい。
- ・防衛省は、現防衛大綱に基づき、南西地域の防衛態勢を強化するため、与那国島に沿岸監視部隊の配置や移動監視隊を展開することを計画しているが、沿岸監視部隊の配置等により、再編交付金等の交付金や補助金は交付されるのか、防衛省に伺いたい。

照 屋 寛 徳君（社民）

- ・嘉手納飛行場に係る爆音に対する玄葉外務大臣の認識を伺いたい。また、同大臣が訪沖した際、いわゆる嘉手納統合案を否定した理由について伺いたい。
- ・玄葉外務大臣は、10月19日の記者会見で、米軍人・軍属が職務上の催事で飲酒した場合、運転能力を著しく低下させない程度であれば、飲酒も「公務中」と認める日米合同委員会合意の見直しに取り組む意向を示したことだが、真に沖縄県民が求めているのは、玄葉外務大臣が同日米合意の改正を実現することと考えるが、玄葉外務大臣の見解を伺いたい。
- ・県議会等沖縄県が要望している「駐留軍用跡地利用促進法案」検討の進捗状況及び同法案に対する一川防衛大臣の認識を伺いたい。